

オートセットアップボタン
自動車診断モード以外で自動設定
Volt, Time, Trigが自動的に設定されます
どんな信号かわからない時有効です

時間軸・タイムベース設定
画面の時間軸関係設定
ズーム機能
レコード長

トリガマーカー
トリガ関係設定
トリガレベル
トリガチャンネル
トリガ遅延

自動車診断・プリセットテスト
140種類の診断モード設定
規準波形、測定方法なども表示されます

バッファコントロール
表示波形等、1万枚まで格納可能
必要とき読み出します
常時見えない、ある瞬間の不良現象などの発見に使えます

ズームボタン
画面波形の拡大/縮小
特定の範囲やチャンネル
上下、左右移動

コネクタデテクト
信号接続状態
入力CHのLED表示
緑LED-ON, 正常
赤LED-ON, 異常
表示CH設定可

スコープボタン
ボタンをクリックして通常のオシロモードになります

チャンネル設定
VOLTケール(V/div)切替
AC/DC入力切替
ACはDC分がカットされます
リップルなど高感度で計測出来ます
プローブの倍率設定

チャンネル
CH: A B C D
入力: BNCコネクタ
各chは色分けされています
左側スケール: CH A C
右側スケール: CH B D

CHルーラー
各chの位置をスライドして設定します

トリガモード
AUTO-自動トリガ*
NONE-信号に無関係な状態
SINGLE-単掃引、一回のみ
波形捕捉表示
REPEAT-一定常的に信号が入力される時に使います
RAPID-(機能なし)
自動トリガは遅い信号
例えば数10mSの信号は信号が無いとみなして、自走します
(この場合、トリガはNORMにします)

ストップ/スタート設定
波形取り込みの開始
または 停止 します
DSOの右端のLED
緑-オシロON
赤-オシロ機能していない (USB接続)
なし-オシロ停止
(トリガ: シングルでも同じ)

タイムルーラー/カーソル
時間のカーソルを設定
左右に移動して設定
2本のカーソルで差の時間(間隔)表示

トリガソース
どのCHでトリガかけるか
選択します

トリガエッジ
トリガスロープ選択
+立ち上がり
-立ち下がり

スレッシュホールド
トリガレベル設定
マーカーをスライドします
または電圧で設定

プリトリガ
トリガマーカー(点)を設定
トリガ以前の波形・時間の設定
通常は画面の中央(50%)に設定
%で位置を設定-時間軸の位置と関連します

測定ボタン
自動測定項目の追加・削除
修正可

Chのラベル/メモ
入力して、表示や保存が出来ます

ルーラー(カーソル)
測定定規・項目
2ルーラーの時、差表示

チャンネル軸
左右に2ch毎表示
各(色分け)chの位置は上下スライドして設定

参照チャンネル(ch)
REFに保存した波形を表示
REF機能で保存・読出出来ます

周波数・RPM(回転)
自動車診断モードで2本の時間軸カーソルで周波数, RPMを表示

スケール, オフセット設定
ch毎に色分けされたChの縦軸(V)を設定します

測定項目表示
測定項目と結果を表示
追加や削除が出来ます

Table:

Channel	Name	Value	Min	Max	Average	σ	Capture Count	Span
A	デューティ サイクル	50.6 %	50.6 %	50.6 %	50.6 %	0.000 %	20	全体をトレース
A	周波数	5.921 kHz	5.919 ...	5.921 kHz	5.92 kHz	0 Hz	20	全体をトレース

非表

Ach使用。BCDのchはONであるが信号入力なしの状態 (connectdetect機能ON)